

ネットワーク上の不完全競争 現代的な独占的競争モデル*

紺野 友彦[†]

University of Tokyo

Research Fellow of the Japan Society for the Promotion of Science

tomo.konno@gmail.com

概要

ネットワーク上の数量的な不完全競争を研究した。ネットワークとは企業間の競争関係を表したものである。地理的な関係がその一例である。

まず我々はネットワークとして表現される任意の競争関係を導き出す事が出来る一般的な効用関数を構成した。

レギュラーネットワーク上での不完全競争では通常の数競争と同じようにライバル企業が増えるほど生産量も価格も減る。面白い結果が見られるのはスケールフリーネットワーク上での場合である。このスケールフリーネットワークとは例外的なものではなく、それどころか現実に多く存在する普遍的なものである。スケールフリーネットワーク上での不完全競争だと、ライバル企業が何社あっても独占状態での生産量と価格になる。

これは現代的な独占的競争モデルと解釈出来る。なぜなら Dixit-Stiglitz モデルでは企業間の戦略的依存関係は考慮されていなかったが、本研究ではその企業間の戦略的依存関係が存在した上で各企業が独占解と同じ生産量と価格を持つからだ。

* 英題: Imperfect Competition on Scale-Free Networks: Modern Monopolistic Competition

[†] The author thanks Michihiro Kandori for helpful comments. This paper is one chapter of the dissertation submitted to University of Tokyo. The author thanks the committee members Hiroshi Yoshikawa, Kazuya Kamiya, Shinichi Fukuda, Naomichi Hatano, and Michihiro Kandori.